

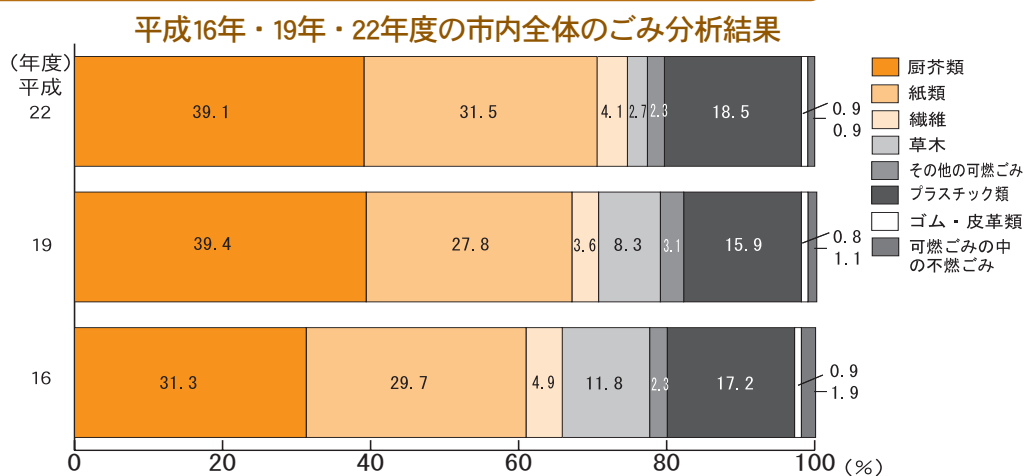
ごみの削減が地球を救う

～ごみを減らせば環境にもお財布にも優しい～

私たちは生活の中からたくさんのごみを排出していますが、どれくらいのごみを排出しているかご存じでしょうか。平成22年度は28,553トン、その内訳は、事業所からのごみが5,642トン、家庭ごみが22,911トンで、約80%が家庭から排出されたごみということになります。赤ちゃんから高齢者まで市民1人1日当たり777.4グラム、1年間では約284キログラムのごみを排出したことになります。

ごみ処理には、年間総額約10億600万円の経費が掛かっています。市民1人当たりで換算すると約12,500円掛かっており、ごみ処理には多額の税金が使われています。そしてさらに地球温暖化の原因でもある二酸化炭素(以下 CO₂)も発生させているので、ごみ削減の取り組みは他人事ではありません。

分析の結果、燃えるごみの40%は生ごみ！



※ 厨芥類(生ごみ)の量が常によく、平成19・22年度は燃えるごみの約40%を占め、横ばいの状態となっています。次に多いのが紙類で約32%を占めています。

生ごみを減らすポイントと効果！

一番多い生ごみをさらに分析すると、食べ残しや手付かずの食品などが目につきました。では、どのように生ごみを削減すればよいか、確認しましょう。

買い過ぎを防ぐポイント

- ・ 買い物に行く前に、冷蔵庫の中の食品を確認する。
- ・ 空腹のときには買い物に出掛けない。

作り過ぎを防ぐポイント

- ・ 家族が食べる量を把握しておく。安売り商品に惑わされない。

家庭での堆肥化

- ・ 最後は堆肥化して、家庭で使用する。
- ・ 生ごみ処理機の購入は市の補助金を活用する。



家庭では

食費やごみ袋代の軽減の効果

市では

ごみ収集や処理経費の軽減の効果

焼却量の削減は地球にも優しい！

牛久クリーンセンターへ毎日大量に運ばれてくるごみ、1人分の排出量は少ないかもしれませんが、人口約8万人分となると、1日で約63トンもの家庭ごみが集まります。牛久市はまだ人口の増加が見込まれると同時に、ごみの排出量も増加が予想されます。ごみを作らない、ごみを出さない、ごみの減量は家庭での取り組みがとても重要です。また、牛久クリーンセンターでは有害物質は除去しても、CO₂の排出量を削減することができません。CO₂を減らすためには、処理するごみそのものを減らすことが必要不可欠です。ごみを減らせば家庭や市の経費節約と同時に地球温暖化防止に寄与することとなり、地球にも優しくなります。